

「ひと、自然、文化きらめく

未来都市」宇城市



宇城市開庁式

宇土郡三角町、不知火町、下益城郡松橋町、小川町、豊野町の宇城西部5町が合併し、1月15日に『宇城市』が誕生しました。

この日、午前9時から松橋町大野の宇城市役所本庁舎（旧松橋町役場）では、松永信雄市長職務執行者のほか旧町の町長や市議会議員、市職員など約140人が出席して開庁式が行われました。

式典では、市章が描かれた市旗の掲揚があり、続いて松永市長職務執行者が、「5町それぞれの町には、長い歴史と伝統、文化、習慣などが存

在しております。お互いの地域性、特徴を生かし合い尊重しながら、『ひと、自然、文化きらめく未来都市』創造に向け、宇城市民一丸となつてさらなる努力を傾注していくことが必要であると認識いたします」と、式辞を述べました。

それから、庁舎の玄関前ではテープカットが行われ、新しい市の門出を祝いました。

また、宇城市が誕生したのに伴い、旧5町の社会福祉協議会も同日合併し、宇城市社会福祉協議会（松田利康会長）が発足しました。



『宇城警察署』が誕生！

県警は、宇城西部5町合併による宇城市の誕生に伴い、1月15日、松橋署を『宇城署』に改編しました。宇城署は、上天草署の管轄だった旧三角町を管内に加え、宇城市、宇土市、下益城郡富合町、城南町、美里町の2市3町を管轄します。

宇城市長職務執行者就任あいさつ

1月15日、宇城市誕生という歴史的な1ページが開かれました。皆さんと共に心からお慶び申し上げ、そして関係者の方々のご努力に敬意を表する次第であります。私は2月27日新市長の誕生まで市長職務執行者として、短い期間ではありますが、皆さん方のご指導とご支援を仰ぎながら職務を全うしたいと思っております。何とぞよろしくお願致します。



式辞を述べる松永市長職務執行者

宇城市は人口規模では県下で3番目の市でありまして宇城地方の拠点都市とし、また県下の中核都市として今後発展していかなければなりません。新市長の下で10年後、20年後の宇城市の夢が描かれる基本構想が示されるとありますが、安心して暮らせる町、希望の持てる町、文化の香り高い活力のある町づくりに、私たちは市民一丸となつて取り組んでいかなければならないと思っております。

今やわが国は少子高齢化社会を迎え、財政硬直化がさらに進み、国の三位一体の改革により地方財政は歳入の見通しが不透明な中、地方大変革の時代となりました。そこで、行財政改革の推進と将来を見据えた計画的な予算編成、執行が強く求められております。そういう情勢の中で宇城市は市民の夢と希望を乗せて今まさに荒波の中に船出致しました。

幸いにも宇城市は豊かな自然があり、肥沃な土地、交通の要所など地理的条件に恵まれております。旧5町の皆さまと共に手を携え、お互いが創意工夫しながら協調の心で語り合い、英知を結集したら必ず力強い産業が生まれ、誰もが暮らしやすい都市、誇れるふるさとが実現できるものと信じます。人がきらめく、自然がきらめく、文化きらめく宇城市、理想の都市を皆さんと共につくっていきたく願っています。

▲式典の様子



▲支所長らに辞令の交付



▶旧町長から市長職務執行者へ事務引継ぎ



▶消防団辞令交付式



窓口では、早くも婚姻届が！

新市が誕生した1月15日午前0時に、小川町新田（川尻区）の藤川洋一さん（22）由美さん（23）のお二人が宇城市役所小川支所（旧小川町役場）に婚姻届を出しました。

洋一さんは、「宇城市の出生と同時に、自分たちも新たな生活をスタートしたかった。」と昨年の12月から、この日に届出しようとしていたそうです。また、由美さんは、「夫婦円満な家庭をつくりたい。」と、抱負を語っていました。

